

## 優良賞

### 妙な人生の分岐点

邢 珊 珊  
XING SHAN SHAN

子供の頃からつい最近まで、よく聞かれるのに返答に困ってしまう質問が一つだけありました。「大きくなったら、何になりたい？」あの時の私は大人になんてなりたくなかったです。将来の事については、はるかに遠く感じて、特になりたいものはありませんでした。

三年前、私は新社会人になり、就職会で「有名大学卒業、或は社会経験の多い者が優先」と言われ、凄くショックを受けました。これは中国の厳しい資格社会の現実です。特に高学歴と言う訳でもなく、社会経験もない私は初めて自分の未来に関して不安を感じました。

「現実を変えられないなら、自分が素直に変わりなさい！」と獅子はわが子を千尋の谷に突き落とすように、母は心を鬼にして、私を厳しく叱りました。私は母の一言で目が覚めて、気分もスッキリしました。そして、私はどっちつかずの生活をやめ、日本に来る事を決意しました。外国人にとって、日本は先端技術を持つ、環境も美しく、暮らしやすい国です。この素晴らしい国で、いろんな事を学んで、絶対に自分らしい生き方を見付けられると信じています。

日本に来たばかりの頃の私は多くの外国人と同じで、言葉が通じない為に、人とのコミュニケーションが大きな課題でした。それを乗り越えるためには一生懸命努力して、勉強するしかありません。毎日仕事を終え、いくら体が疲れ

ていても、日本語の勉強は決して欠かしません。休日にも本を読んで、文法を覚え、テープを聴いて、聴解を鍛えます。

そして、職場で積極的に日本人と話す事を常に心掛けています。硬くて、間違いばかりの言葉ですが、周りの方はいつも微笑みながら、しっかりと聞いて、優しく教えてくれます。身振り手振りの中で、人にものを伝える事の難しさと伝わった時の嬉しさを同時に味わう事ができました。平凡な日常生活なのに、楽しく勉強する事ができました。そして、嬉しい事に、お友達も増えました。まさに一石二鳥だと思います。

自分の努力の重ねと職場の皆さんの助けの元に、私は日本語能力試験で一級を取得する事ができました。日本で多くの心の温かい人と出会い、自分の生き方を見つける事ができて、良かったと実感しました。そして、いつの間にか、私はものを伝える仕事をしたと思うようになりました。人の生き方とは思わぬことから、変わるものだと分かりました。

「将来何になりたい？」ともう一度聞かれたら、日本で学んできた技術と日本語を生かして、中国と日本の国際交流に役立てるかけ橋になりたいと迷わず言う事ができます。これが私の夢です。

区 分	技能実習生
国 籍	中国
職 種	電子機器組立て
受入れ企業	アルパインカスタマーズサービス株式会社
受入れ団体	明星国際支援協同組合